

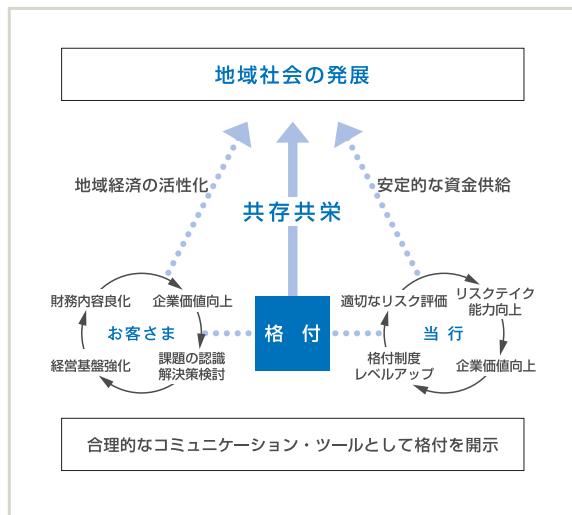
法人のお客さまへ

1 「しがぎん格付コミュニケーションサービス」

当行独自の蓄積データに基づく内部格付をお取引先と共有することで、不況脱出や今後の発展にお役立ていただこうと、内部格付情報をご提供する「しがぎん格付コミュニケーションサービス」を積極的に展開しています。今次長期経営計画の基本ビジョンである“対話力”強化による更なる共存共栄にむけ、お取引先と銀行が経営課題を共有化し、今後の経営方針や経営戦略策定に真正面から取り組んでいます。

平成21年度は、1,634回の同サービスを実施し、平成19年8月からの累計は、お取引先1,988先に対し、合計3,132回実施しました。

格付制度の意義と目的



2 観光、アグリ・フードビジネスを積極的に支援

滋賀県に本店を置く唯一の地方銀行として、当行では県内経済の幅広い発展を目指すため、「地産地消」など食や農業を重要なテーマと捉え、アグリビジネスのサポートによる地元経済の活性化に取り組んでいます。平成21年6月に開催した「エコビジネスマッチングフェア2009」では、「アグリ・フード」部門を新設し、農業関連事業を営む12社に出展いただきました。

また、滋賀県は琵琶湖をはじめ豊かな自然や歴史、文化・芸術環境に恵まれています。「ひこにゃん」のブームもあり、ここ数年は毎年4,500万人以上の方が観光に訪れており、各地域で観光まちづくりも図られるなど、「観光ビジネス」は盛り上がりを見せています。

当行では、平成21年6月に観光の担当者を営業統轄部法人推進グループに配属しました。平成23年のNHK大河ドラマが滋賀県にも縁の深い「江～姫たちの戦国～」に決定したことも受け、行政と連携して「観光」による地域の活性化に向けた取り組みを積極的に行ってまいります。



大河ドラマのキャラクター「お茶々ちゃん、お江ちゃん、お初ちゃん」

3 「エコビジネスマッチングフェア」を開催

平成21年6月、2回目となる「エコビジネスマッチングフェア2009」を開催しました。これは平成20年7月に初めて実施した同フェアがご好評を得たことから、規模を拡大して開催したものです。当日は出展社・団体数120(前年75)、来場者数約2,600名(前年1,800名)と各ブースは終日にぎわいました。また、当日の商談数も818件(前年359件)に上り、一層の盛況となりました。

同フェアは、当行のお取引先に「環境に特化」した商談と交流の場を提供し、今後の事業展開のヒントや新しいビジネスパートナーを見つけていただくことを目的として開催しております。第2回フェアは、新たに環境に関連した「アグリ・フード」部門の企業のお取引先にも出展いただきました。

今次長期経営計画では、豊富な企業ネットワークを活用した新しい“商流”の創出に力を入れてまいります。引き続き「エコビジネスの芽」を育て、環境ビジネスに積極的に取り組まれる企業同士のシーズとニーズをマッチングすることを目指し、3回目となるフェアを平成22年6月22日に開催しました。



エコビジネスマッチングフェア2009

4 エコビジネスフォーラム「サタデー起業塾2010」

「産学官・金(金融)」の連携で「ニュービジネス」にかける起業家精神をサポートする「サタデー起業塾」を、平成22年度も5回にわたり開催します。

当行では、ニュービジネスの育成が地域金融機関の使命と考え、平成12年度より「サタデー起業塾」を開催。昨年度までの受講生は延べ1,400名にのびります。

平成20年度からは「エコビジネスフォーラム」として開催しており、今年度は10月に名古屋で開催されるCOP10(生物多様性条約第10回締約国会議)を見据え、「気候変動」に加えて「生物多様性」をキーワードに「環境ビジネス」の最前線や環境ビジネスにつながる最新の大学シーズを紹介し、新たな「環境ビジネス」の起業を「産学官・金」の連携によりサポートいたします。

また、歴代のサタデー起業塾の受講生の中で産学官連携(または産産連携)により、実際にニュービジネスに取り組まれた企業や事業者の皆さまを対象に、ニュービジネス奨励金「しがぎん野の花賞」を贈呈します。



エコビジネスフォーラム「サタデー起業塾2010」